

2024年度通期 決算説明資料

株式会社クボタ 常務執行役員 管理本部長
滝川 英雄
2025年2月14日（金）

2024年度通期 連結決算概要

(億円)	2024年度 通期	2023年度 通期	増減		3Q時予想比増減	
			金額	%	金額	%
売上高	30,163	30,207	▲ 44	▲ 0.1	+ 663	+ 2.2
国内	6,325	6,431	▲ 107	▲ 1.7	+ 55	+ 0.9
海外	23,838	23,776	+ 62	+ 0.3	+ 608	+ 2.6
営業利益	10.5% 3,156	10.9% 3,288	▲ 132	▲ 4.0	+ 56	+ 1.8
税引前利益	11.1% 3,353	11.3% 3,423	▲ 70	▲ 2.0	+ 93	+ 2.9
親会社の所有者に帰属する 純利益	7.6% 2,304	7.9% 2,385	▲ 80	▲ 3.4	+ 94	+ 4.3
ROE	9.9%	11.8%	▲ 1.9P			

米ドル 平均レート(円)	152	141
ユーロ 平均レート(円)	164	152
パーツ 平均レート(円)	4.30	4.04

売上の為替影響は前年比で + 1,590億円



機械 26,369億円（前年比+1）

各市場の状況

日本

農機市場は米価が上昇するも生産コストの増加が先行しており引き続き低迷。

北米

建機は住宅市場は少し弱含むがインフラ開発需要を背景に堅調。トラクタは景況感の減速によりResidential市場は低迷、農用市場は農作物価格下落に伴い減速。

欧州

建機・エンジン市場は経済・投資減速の影響を受け減少が続くが、一部の地域では減少幅が少し和らぐ。トラクタは弱含みが続く。

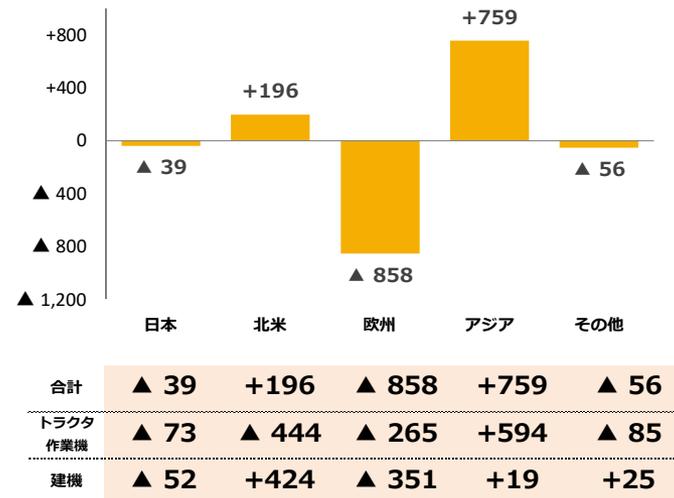
アジア

タイは洪水被害により畑作市場の一部が低迷するも、全体的には稲作市場を中心に堅調に回復。インドも後半の十分な降雨と収穫量により干ばつからの回復を見せる。

その他

豪州は景況感の減速に伴いトラクタ、建機市場とも縮小。

■ 機械仕向地別売上高増減（億円）





水・環境 3,626億円（前年比▲18）

各市場の状況

パイプシステム

鉄管は価格上昇に伴う代替管へのシフトにより縮小。合成管はインフラ関係は堅調も住宅関係が減少。

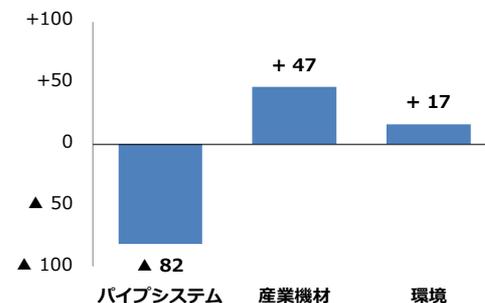
産業機材

反応管は海外プラント新設需要は安定。空調は国内工場回帰の動きにより受注は順調だが、人手不足による工事遅延の影響を受ける。

環境

プラント・ポンプは前年並みを維持するが資材不足による工事遅延が慢性化。排水処理は国内工場向けが好調。

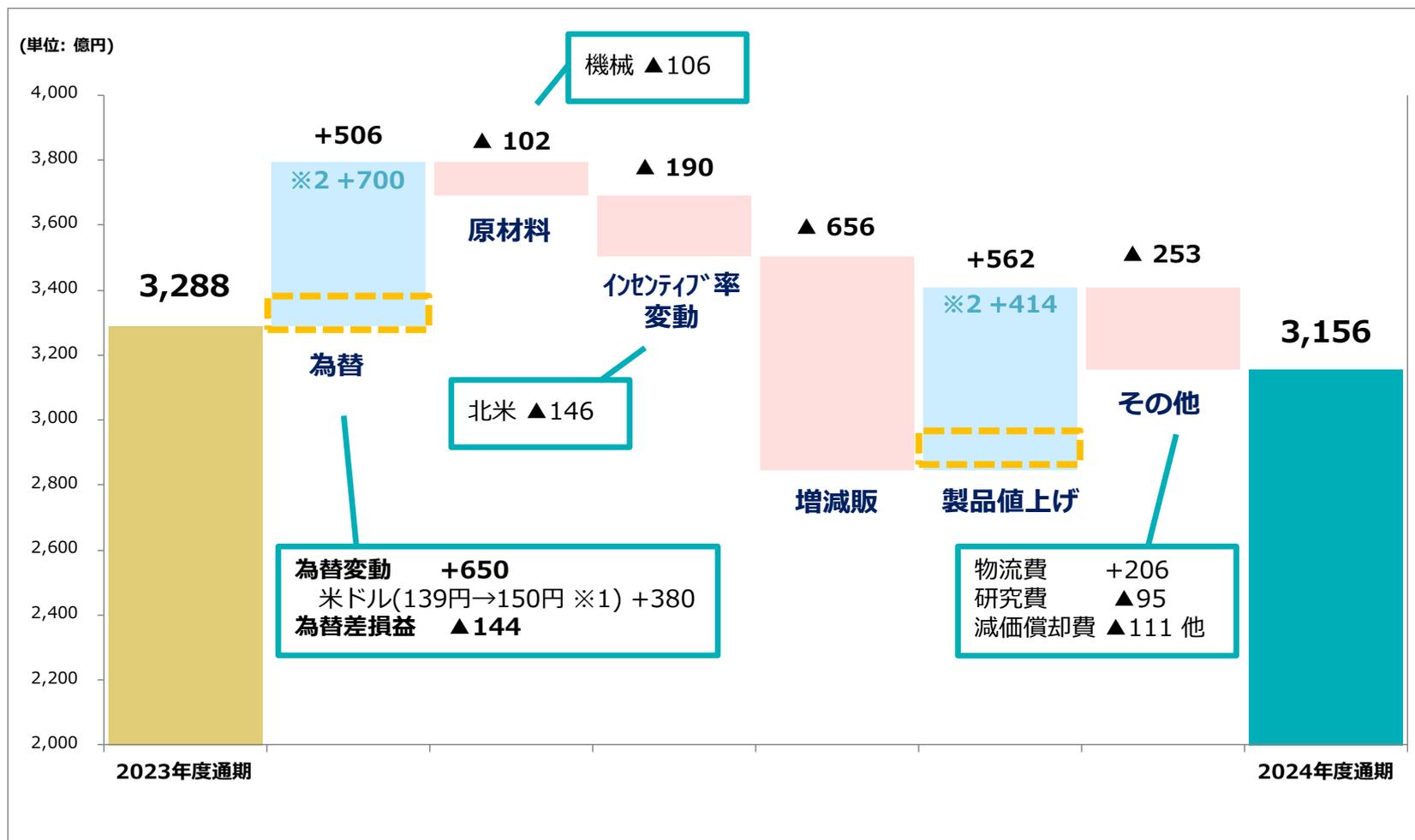
■ 水・環境事業別売上高増減（億円）



その他 168億円（前年比▲27）

物流など各種サービス事業より構成。

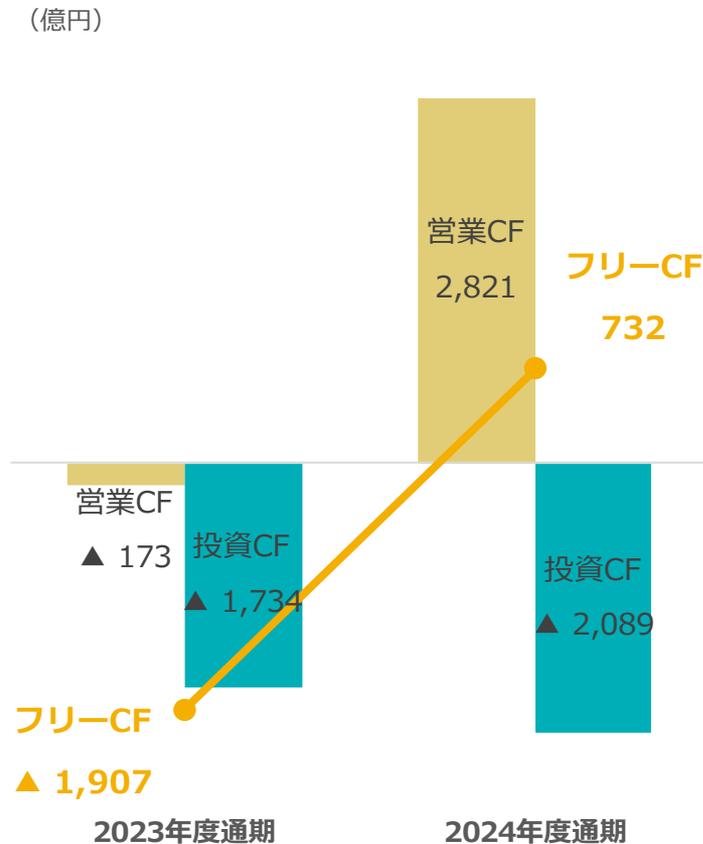
営業利益（▲132億円）の増減要因



※1: 日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レート
 ※2: ミャンマーの影響を除いた増減額

ミャンマーにて為替損失補填のための製品値上げを実施

フリーキャッシュフロー 732億円（前年比+2,639）



2024年度

営業CF：2,821億円の収入

前年の支払サイト短縮の反動と
運転資本改善により収入増

投資CF：2,089億円の支出

設備投資増加に伴い支出が増加

フリーCF：732億円のプラス

業績予想

2025年度業績予想

(億円)	2025年度 (予想)	2024年度 (実績)	増減	
			金額	%
売上高	30,500	30,163	+ 337	+ 1.1
国内	6,580	6,325	+ 255	+ 4.0
海外	23,920	23,838	+ 82	+ 0.3
営業利益	9.2% 2,800	10.5% 3,156	▲ 356	▲ 11.3
税引前利益	9.7% 2,970	11.1% 3,353	▲ 383	▲ 11.4
親会社の所有者に帰属する 純利益	6.4% 1,960	7.6% 2,304	▲ 344	▲ 14.9

米ドル 平均レート(円)	145	152
ユーロ 平均レート(円)	152	164
パーツ 平均レート(円)	4.20	4.30

売上の為替影響は前年比で▲1,240億円

● 機械 26,500億円（前年比+131）

市場トレンド

各市場の状況

日本



農機市場は米価上昇に伴い収入増は見込めるが、農家数の減少が加速しており市場は減少傾向。建機・エンジン市場はインフラ工事需要により堅調。

北米



建機市場は政府のインフラ開発需要は底堅く、住宅需要も現水準で安定し前年並みを想定。選挙後からは景況感の回復も少し見られる。一方小型トラクタ市場は引き続き低迷し激しい価格競争を見込む。農用市場は縮小傾向も畜産関係は価格も安定しており、クボタ関連市場では微減に留まる。

欧州



建機市場は利下げ実施や政策により一部の国では底を打つが、全体では本格的な回復は2026年以降を想定。トラクタ市場は弱い水準が続く。

アジア



タイは米価上昇や干ばつによる買い控えからの脱却で順調に回復。畑作市場も前年の洪水被害からの回復を期待する。インドは前期の好調な収穫に加え、政府買取保証額の増額など施策面の期待もあり堅調な市場を想定。

その他



豪州市場は景況感の減速や高金利政策により全体的に弱い水準が続く。

水・環境 3,850億円（前年比+224）

市場トレンド

各市場の状況（大きな変更なし）

パイプ
システム



鉄管は機材や労務費の単価上昇が続き代替管へのシフト傾向は続く。
合成管は住宅、インフラ関係とも前年並みだが、工場向けは増加。

産業機材



反応管市場はエチレン生産能力向上により新規投資は若干落ち着く。
鋼管市場は関西地区での需要が増加し堅調。
空調は国内での工場やデータセンター建設需要に支えられる。

環境

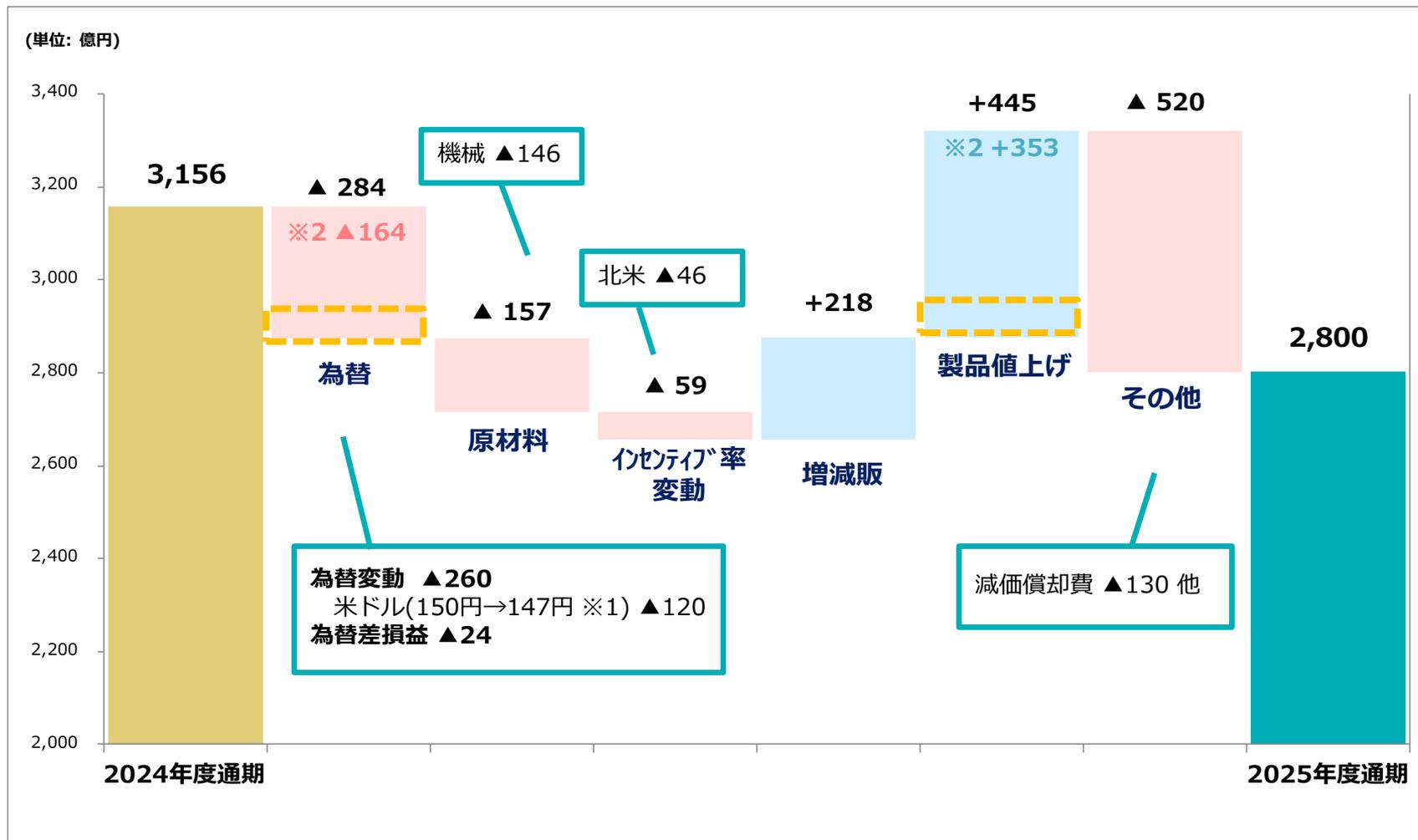


工場の国内回帰により、排水・排ガス案件は増加傾向。
ポンプは前年並み。O&M市場は民間委託の増加と共に拡大が続く。

その他 150億円（前年比▲18）

物流など各種サービス事業より構成。

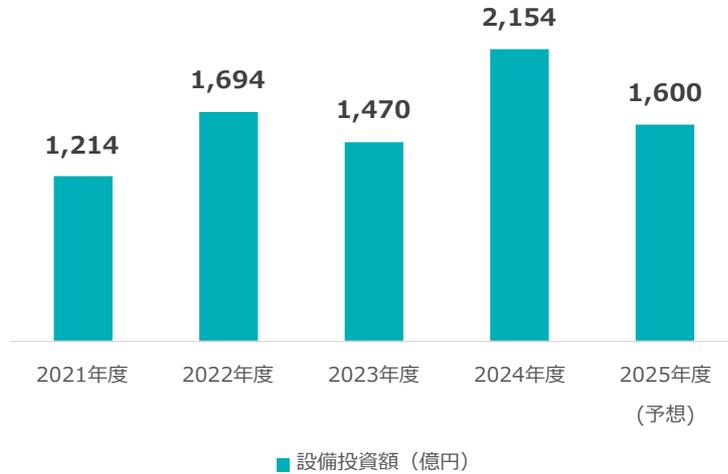
営業利益（▲356億円）の増減要因



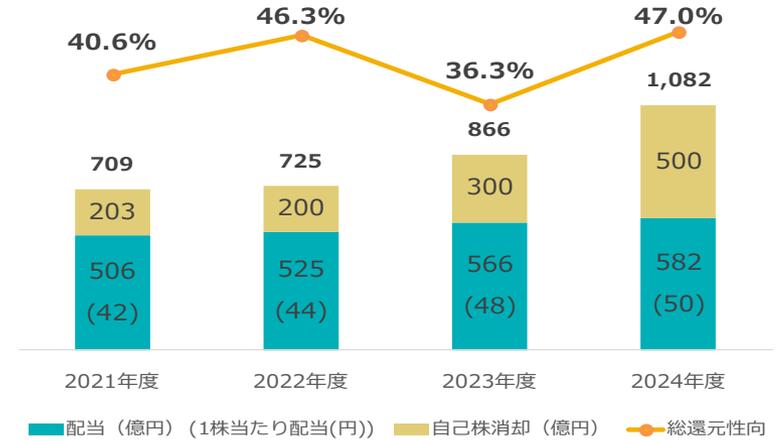
※1：日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レート
 ※2：ミャンマーの影響を除いた増減額

ミャンマーにて為替損失補填のための製品値上げを実施

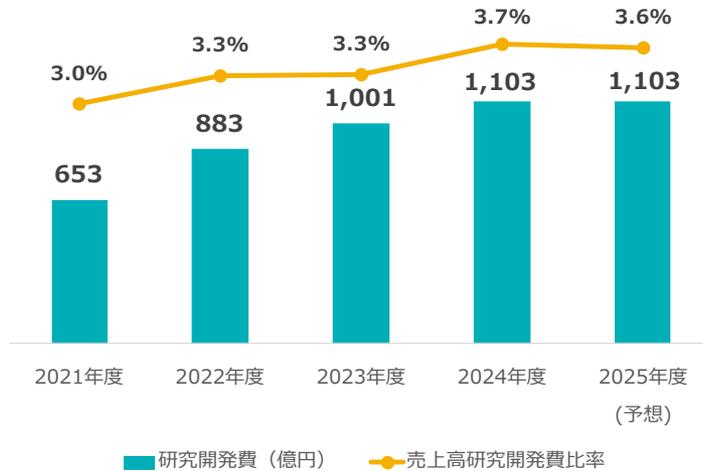
■ 設備投資



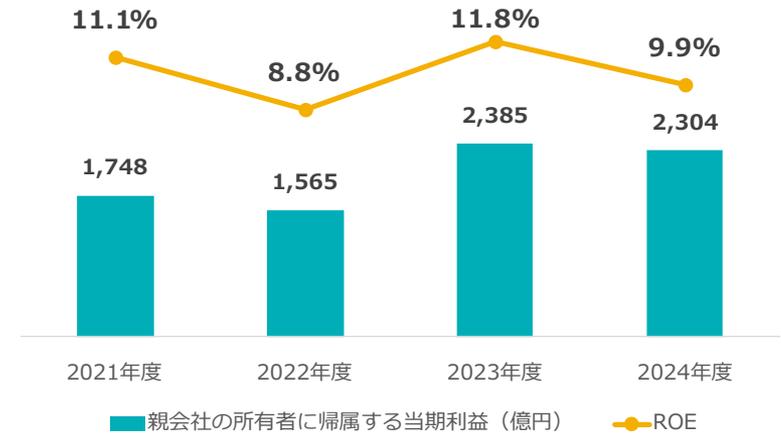
■ 株主還元



■ 研究開発費



■ ROE



For Earth, For Life

Kubota

(補足) 財政状態計算書

(億円)		2024年度 期末	2023年度 期末	増減	為替影響 を除く増減
現金及び現金同等物		2,951	2,221	+ 730	
営業債権		9,852	9,455	+ 397	▲ 235
金融債権		21,925	19,015	+ 2,910	+ 836
棚卸資産		6,923	6,680	+ 242	▲ 211
その他		18,535	16,221	+ 2,314	
資産合計		60,187	53,592	+ 6,594	
有利子負債		22,781	19,902	+ 2,879	+ 1,270
営業債務		2,747	3,009	▲ 262	
その他		7,261	6,521	+ 740	
負債合計		32,789	29,432	+ 3,357	
親会社の所有者に帰属する持分		24,773	21,758	+ 3,015	
非支配持分		2,625	2,403	+ 222	
資本合計		27,398	24,161	+ 3,237	
負債及び資本合計		60,187	53,592	+ 6,594	

(補足) 小売金融の状況 (非監査)

財政状態計算書

(億円)	2024年度 期末		2023年度 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	25,697	37,692	22,379	33,783
現金及び現金同等物	275	2,676	337	1,885
営業債権	273	9,587	273	9,190
金融債権	21,925	-	19,015	-
棚卸資産	-	6,923	-	6,680
有形固定資産	207	8,412	167	7,103
その他	3,017	10,094	2,587	8,924
負債合計	21,258	14,590	18,677	13,123
有利子負債	20,067	4,389	17,641	3,621
その他	1,191	10,201	1,036	9,502
資本合計	4,439	23,103	3,701	20,660

小売金融債権遅延率

(億円)	2024年度 期末	2023年度 期末	増減	
	金額	金額	金額	%
債権残高	22,243	19,261	+ 2,981	+ 15.5
内90日以上遅延	187	150	+ 37	+ 24.5
遅延率	0.8%	0.8%	-	+ 0.0P

(補足) 事業セグメント別営業利益実績・予想

(億円)		2024年度 通期	前年同期比	2025年度 (予想)	前年比
機械	売上高	26,369	+ 1	26,500	+ 131
	セグメント利益	3,474	▲ 84	3,130	▲ 344
	利益率	13.2%	▲ 0.3P	11.8%	▲ 1.4P
水・環境	売上高	3,626	▲ 18	3,850	+ 224
	セグメント利益	297	▲ 9	360	+ 63
	利益率	8.2%	▲ 0.2P	9.4%	+1.2P
その他	売上高	168	▲ 27	150	▲ 18
	セグメント利益	10	▲ 5	10	+ 0
	利益率	5.8%	▲ 2.0P	6.7%	+0.9P
調整※	セグメント利益	▲ 624	▲ 34	▲ 700	▲ 76
計	売上高	30,163	▲ 44	30,500	+ 337
	営業利益	3,156	▲ 132	2,800	▲ 356
	利益率	10.5%	▲ 0.4P	9.2%	▲ 1.3P

※「調整」には親会社での管理部門の費用や基礎研究費、為替差損益が含まれています
2025年1月1日付の機構改革に伴う影響は、2025年度の予想には反映しておりません（第1四半期実績の開示より反映）

■ トラクタ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2023年	0-40馬力	▲ 20.1%	▲ 8.4%	▲ 6.8%	▲ 8.5%	▲ 13.0%	▲ 11.2%	▲ 10.7%
	40-120馬力	▲ 9.2%	▲ 4.5%	▲ 6.5%	▲ 14.0%	▲ 6.5%	▲ 6.5%	▲ 8.6%
	120-160馬力	▲ 0.2%	+ 0.1%	▲ 0.6%	▲ 9.3%	▲ 0.0%	▲ 0.2%	▲ 3.1%
2024年	0-40馬力	▲ 17.0%	▲ 12.0%	▲ 19.4%	▲ 7.6%	▲ 13.8%	▲ 15.5%	▲ 14.0%
	40-120馬力	▲ 8.4%	▲ 9.8%	▲ 12.3%	▲ 11.5%	▲ 9.2%	▲ 10.3%	▲ 10.6%
	120-160馬力	▲ 2.6%	+ 29.1%	▲ 6.8%	▲ 25.8%	+ 15.3%	+ 7.2%	▲ 2.5%

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 0-6tバックホー市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2023年		+ 3.8%	+ 10.9%	▲ 3.1%	+ 4.5%	+ 7.7%	+ 3.9%	+ 4.1%
2024年		▲ 14.2%	▲ 13.7%	▲ 16.9%	+ 1.7%	▲ 13.9%	▲ 14.9%	▲ 10.5%

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ コンパクトトラックローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2023年		+ 17.4%	+ 3.3%	+ 5.9%	+ 4.0%	+ 9.4%	+ 8.2%	+ 6.9%
2024年		▲ 6.9%	+ 6.4%	▲ 6.0%	+ 9.6%	+ 0.2%	▲ 1.9%	+ 1.5%

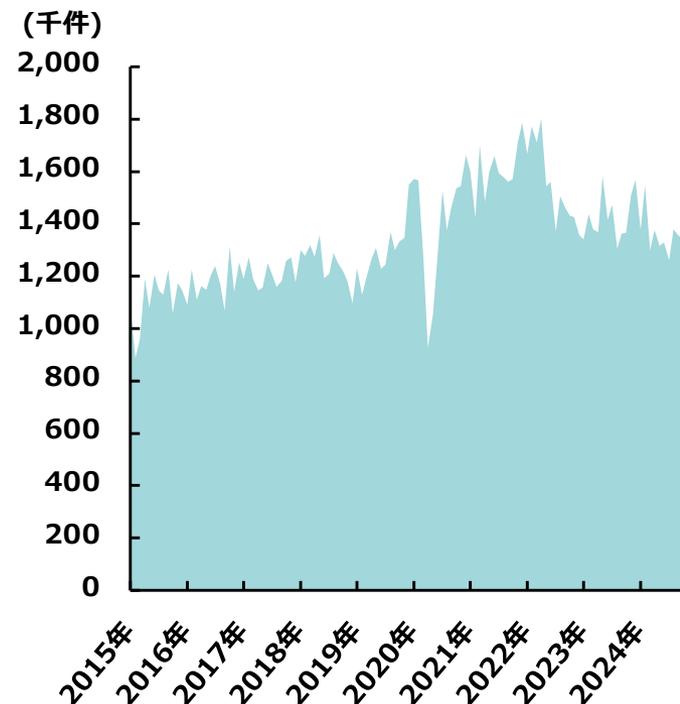
出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ スキッドステアローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2023年		▲ 5.3%	+ 4.5%	+ 7.9%	+ 28.7%	+ 0.1%	+ 2.6%	+ 10.7%
2024年		+ 3.0%	▲ 12.1%	▲ 12.3%	▲ 7.2%	▲ 5.6%	▲ 7.9%	▲ 7.7%

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
